

トップエトワール集結の『イン・ザ・ナイト』ほか、
世界最高のダンサーたちによる名作が目白押し！

プログラムAのいちばんの見どころは、ロビンズ振付『イン・ザ・ナイト』。ロ
ピンズは生前バリ・オペラ座のダンサーを愛し、彼の振付を踊らせたらオペラ
座のダンサーに敵う者はないと言われたりもするほど。ショパンの『夜想曲』に
乗せた3つの美しい愛の情景を、バリエロ&ガニオ、アルビッソン&ベザール、
ジルベール&マルシャンがどんなふうに見せてくれるか、期待が高まる。いっぽ
う若手のスクダモア&ドキール組は『海賊』『サタネラ』、ムーセーニュ&ディ・ヴィ
コ組は『ドン・キホーテ』で華やかに盛り上げてくれる。

夭折の天才振付家ウヴェ・ショルツの名品『ソナタ』をガニオがボラックと
ともに踊るのにも注目。フォーゲルはアルビッソンと鬼オマイヨーの『くるみ割
り人形』、ボラックとファン・マーネンの『3つのグノシエンヌ』をそれぞれ日本初
披露。ジルベール&マルシャンがブレルジョカージュ振付『ル・パルク』から美
しい“フライング・キス”のパ・ド・ドゥを踊るのも見逃せない。

PROGRAM

A

『ソナタ』

振付：ウヴェ・ショルツ 音楽：セルゲイ・ラフマニノフ
レオノーレ・ボラック/マチュー・ガニオ
ピアノ：久山亮子 チェロ：調整中

『カルメン』

振付：ローラン・ブティ 音楽：ジヨルジュ・ビゼー
リュドミラ・バリエロ/オードリック・ベザール

『くるみ割り人形』

振付：ジャン＝クリストフ・マイヨー 音楽：ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー
アマンディース・アルビッソン/フリーデマン・フォーゲル

『ル・パルク』

振付：アンジュラン・ブレルジョカージュ
音楽：ウォルフガング・アマデウス・モーツァルト
ドロテ・ジルベール/ユーゴ・マルシャン

『海賊』

振付：マリウス・ブティバ 音楽：アドルフ・アダン
ピアンカ・スクダモア/トマ・ドキール

『ドン・キホーテ』

振付：マリウス・ブティバ 音楽：レオン・ミンクス
クララ・ムーセーニュ/ニコラ・ディ・ヴィコ

『3つのグノシエンヌ』

振付：ハンス・ファン・マーネン 音楽：エリック・サティ
レオノーレ・ボラック/フリーデマン・フォーゲル
ピアノ：久山亮子

『サタネラ』

振付：マリウス・ブティバ 音楽：チャーザレ・ブーニ
ピアンカ・スクダモア/トマ・ドキール

『イン・ザ・ナイト』

振付：ジェローム・ロビンズ 音楽：フレデリック・ショパン
リュドミラ・バリエロ/マチュー・ガニオ
アマンディース・アルビッソン/オードリック・ベザール
ドロテ・ジルベール/ユーゴ・マルシャン
ピアノ：久山亮子

photos : Hidemi Seto/Michel Lidvac/Ann Ray



〈フリーデマン・フォーゲル〉卓越した演技力で世界を虜にするスーパースター

〈ユーゴ・マルシャン〉美しくダイナミックな技術と存在感で魅了

〈マチュー・ガニオ〉世界中から愛される唯一無二のダンスール・ノブール

〈ドロテ・ジルベール〉オペラ座トップに君臨する美しき女王

話題騒然の作品が、あのキャストで本邦初披露！
バレエファン垂涎の名作ぞろいのプログラムは必見！

プログラムBでは、ジルベール&マルシャンの『うたかたの恋』が必見。ハプスブルク帝国
のルドルフ皇太子による名高い心中事件を題材にした、マクミランの傑作がオペラ座のレ
パートリーに加わって話題を呼んだのは昨秋のこと。その際に主演を務めた2人の演技が
はやくも日本で見られるのはうれしいところ。愛と狂気がみなぎる壮絶なパ・ド・ドゥは観る者
を圧倒するはずだ。ジルベール&マルシャンの“出会いのパ・ド・ドゥ”、バリエロ&フォーゲル
の“寝室のパ・ド・ドゥ”と続く、ダンサー同士の『マノン』競演もほかでは見られない、このガ
ラならではのユニークな試みだ。

フォーゲルはボラックとゲッケ振付『悪夢』を踊ることも注目。レディー・ガガの楽曲を用
いた『悪夢』は2021年の世界バレエフェスでフォーゲルが初披露し、マッチを使ったエモ
ショナルな踊りが絶賛された。コンテンポラリーの表現に優れたボラックを新たなパートナー
として、この傑作がどう変貌するのが楽しみなどところだ。オペラ座の上演で巨匠ノイマイヤー
が絶賛したアルビッソンの『椿姫』が日本で初めて見られるのも楽しみにでならない。

PROGRAM

B

『チャイコフスキー・パ・ド・ドゥ』

振付：ジョージ・バランシン 音楽：ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー
レオノーレ・ボラック/トマ・ドキール

『マノン』より“寝室のパ・ド・ドゥ”*

振付：ケネス・マクミラン 音楽：ジュール・マスネ
リュドミラ・バリエロ/フリーデマン・フォーゲル

『オネーギン』

振付：ジョン・クランコ 音楽：ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー
アマンディース・アルビッソン/マチュー・ガニオ

『イン・ザ・ミドル・サムホワット・エレヴェイテッド』

振付：ウィリアム・フォーサイス 音楽：トム・ウィレムス
ピアンカ・スクダモア/オードリック・ベザール

『うたかたの恋 マイヤーリング』

振付：ケネス・マクミラン 音楽：フランツ・リスト
ドロテ・ジルベール/ユーゴ・マルシャン

『パリの炎』

振付：ヴァシリー・ワイノネン 音楽：ボリス・アサフィエフ
クララ・ムーセーニュ/ニコラ・ディ・ヴィコ

『ヴィヴァルディ・パ・ド・ドゥ』

振付：ジル・イブアール 音楽：アントニオ・ヴィヴァルディ
リュドミラ・バリエロ/マチュー・ガニオ

『椿姫』

振付：ジョン・ノイマイヤー 音楽：フレデリック・ショパン
アマンディース・アルビッソン/オードリック・ベザール

『マノン』より“出会いのパ・ド・ドゥ”

振付：ケネス・マクミラン 音楽：ジュール・マスネ
ドロテ・ジルベール/ユーゴ・マルシャン

『悪夢』

振付：マルコ・ゲッケ 音楽：キース・ジャレット、レディー・ガガ
レオノーレ・ボラック/フリーデマン・フォーゲル

『コンチェルト』

振付：ケネス・マクミラン 音楽：ドミトリー・ショスタコーヴィチ
ピアンカ・スクダモア/トマ・ドキール

最新情報はこちらをチェック！

※上記の演目・配役は5月9日現在の予定です。（上演順不同）
※音楽は特別録音による音源を使用します。
★Bプログラムで予定されておりました「ロミオとジュリエット」は、
ダンサーの希望により「マノン」より“寝室のパ・ド・ドゥ”に変更となりました。何卒ご了承ください。

